

小学校 第5学年 道徳科学習指導案

日 時 令和4年 月 日 (月)
 学 級 5年 組 名
 指導者

1 主題名 「集団での役割」 (C-16 よりよい学校生活、集団生活の充実)
 (関連内容項目 B-10 友情、信頼)

2 教材名 「最後のリレー」 (出典: 「ココロ部!」NHK for School)
https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005130359_00000

3 主題設定の理由

本主題は、学習指導要領の内容項目C「主として集団や社会との関わりに関すること」の(16)「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること」をねらいとしている。人は様々な集団や社会に属し生活を営んでいる。集団の中で一人一人が尊重されながら、主体的な参加と協力があるとき、よりよい集団が作られる。また、自分の役割と責任を果たして自己有用感を高め自己実現へと繋がっていく。

本教材は、NHK for schoolの「ココロ部!」の道徳映像教材である。キャプテンのコジマくんが、タクヤの足のけがを監督に「言う」か「言わない」で悩む場面を自分事として捉え、考える内容である。最後の大会であるため、親友のタクヤの気持ちを考える友情や、他のメンバー、監督に対しキャプテンとしての責任等、様々な立場からどうしたらよいかを考えることができる教材である。

4 ねらい

タクヤの足のけがを監督に「言う」か「言わない」かで悩むコジマくんを通して、自分の置かれている立場や役割について多面的・多角的に考え、自分たちの学校や集団をよりよく発展させるようとする実践意欲と態度を育てる。

(1) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	支援及び指導上の留意点 (○) 評価 (☆)
導入 10分	1 映像を視聴して、問題を把握する。 ○コジマくんがどんなことに困っているのか、コジマくんの立場に立って見ましょう。	・監督にけがのことを「言う」か「言わない」で迷っている。	○コジマくんの状況について資料を提示し状況を把握できるようにする。
展開 30分	2 個人でコジマくんはどうしたらいいか考える。(個人) ○A I A I モンキーを用いて、問いに答えましょう。【設問1】	【監督に言う】 ・優勝を目指して練習してきた。	○課題について確認し両面から考えられるように声掛けをする。 ○設問1に対し、自分の考えを入力さ

	<p>◎コジマはどうしたらいいのだろう。</p> <p>○そう思った理由を入力しましょう。</p> <p>○児童の意見を集約し全体へ提示する。</p> <p>3 グループ、全体で話し合う。</p> <p>○ワクワクの実を見て、友達の考えを確認しましょう。</p> <p>4 友達の考えを聞き、再度自分の考えを入力する。【設問2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・監督やチームの信頼関係が崩れる。 <p>【監督に言わない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクヤがかわいそう ・勝つことよりも大切なことがある。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの考えを聞く。 ・二人を走らせてみる。 <p>○自分と違う考えがたくさんある。</p> <p>○キーワードで見るとわかりやすい。</p> <p>○【監督に言う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャプテンとしての責任がある。隠し事はできない。 <p>【言わない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後の大会だから、一緒に頑張ってきたタクヤに走らせたい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監督と相談し自分の考えを伝える。 	<p>せる。その際、入力困難な児童への支援を行う。</p> <p>○「言う」、「言わない」、「その他」の割合を全体で共有する。</p> <p>○児童の入力、送信を確認し、わくわくの実の提示を行う。</p> <p>○わくわくの実を読み、新たな気づきや疑問はワークシートにメモするように声掛けをする。</p> <p>○アイアイモンキーの設問2を配布し、入力送信をさせる。文字入力支援を行う。</p> <p>○全体で結果を共有する。画面提示</p>
<p>終末 5分</p>	<p>6 振り返り</p> <p>○今日の学習を通して考えたことや、新しくわかったことを入力しましょう。</p> <p>【振り返り】</p> <p>○振り返りを Forms で送信しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の考えと同じだけど、理由が変わった。 ・友だちの考えを聞いて、自分にはなかった考えに気付けた。 ・自分の事だけでなく、周りの人のことを考えることができた。 	<p>○振り返りをタブレットと用紙と選択できるように配慮する。</p> <p>○最初の考えとの比較や友達の考えを通して考えたことなどにも触れられるように声掛けをする。</p> <p>☆よりよい学校生活や集団生活について、これからの生活と関連して考えようとしているか。 (ワークシート・発表)</p>